

2016年
4月



風船で遊ぶ子どもたち！（カンボジア孤児院）

皆さまの尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。
孤児院の子どもたちも元気になっているようで、皆さまのお力あつてのことと思ひ、
本当に感謝致します。

その成長に伴い現地スタッフは、学校の試験、進級、さらには進学と、子供達
のことで様々な苦勞を抱えております。

特に進学となると、やはり色々な経済の必要があります。子供達の成長と共に、
孤児院運営の必要が増えてきている中でこのことであり、正直に申し上げますと、
ただ皆さまのお力に頼るばかりであります。

しかし子供たちの中には、しっかりと学びをして、将来は孤児院のスタッフと
して働いていきたいと思っている子も少なくないようです。そう思うと、孤児院
の働きが子供たちの心に与えた良い影響を、皆さまと共に喜びたいのも正直なと
ころであります。子供たちの成長は皆さまの御支援の賜物です。是非これからも
御支援、御協力、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

2月の進級試験を終えた後くらいから、数人の子ども達に風邪の症状が出て、1人の男の子は初期症状が風邪のようでしたが、検査の結果はデング熱とチフスに感染していることがわかりました。医療機関を受診し、数日間安静に過ごしながら、現在はすっかり回復して元気になりました。また、他の子ども達への感染は

現在（3/11）までなく、守られています。

また、左半身に麻痺がある女の子が、突然でんかん症状が出るようになり、数日間小児病院に検査入院をしました。退院後は、投薬による治療が始まりましたが、その後、症状は治まっている状態です。長期的な投薬治療が必要になると言われていますが、体調がさらに守られて過ごせるように願っています。



夕食後、なにやら始めている子どもたち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

今月は、2015年～2016年の学期の最後の月になります。子どもたちは近づいている夏の暑さを感じています。また毎日2～3時間続く停電が度々あるので、授業が中断されたり、休講になったりしています。子どもたちは停電によって勉強が遅れるので、何人かの教師は宿題の他に、家で出来る課題を出しています。私たち

たちは2016年～2017年の新学期の準備を始めています。子どもたちの保護者がいち早く名前のリストを送ってくれたので感謝しています。タクナンに住むアーチャーの両親が彼の6歳の誕生日に私たちを呼んでくれました。小さなアイスクリームのプレゼントをととても喜んでいました。皆様のご支援を心から感謝致します。間もなく始まる新学期においても、引き続きご支援頂けますようお願い申し上げます。



6歳になるアーチャーくん(左から二番目)！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?

皆様の日頃のご支援に、心より感謝申し上げます。



サツマイモの畝!

ザンビアは3月になってようやく雨が数日降るといふ異常気象です。普通の雨季ですと、12~1月が毎日降るようなものなのですが…それでもついに、サツマイモを植えることができました。収穫すれば、朝食に、夕食に、少しバラエティーを出すことができます! テリスとフィデリスは高校卒業できましたが、その後の進路が決定できずにいます。本人たちは進学を希望していますが、経済の壁が高いようです。皆様のご支援をどうぞ、よろしくお願い申し上げます。現在一台の車両で第一、第二孤児院をまかなってしまして、その一台も、故障の連続で、修理費用が大きな課題となっています。どうかもう一台の四輪駆動車と、バスが与えられますよう、重ねてお願い申し上げます。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援とご協力をありがとうございます。前号でご報告書いたしました大腸がん検診の精密検査を、2月23日に実家の近くの千葉労災病院で受けました。麻酔なしでも痛みはほとんどなく、患者がテレビ画面で自分の腸内を見ることができるほど、体に負担の少ない高技術の検査を受けさせていただきました。ブラ



桜をバックに松本さん!

ジルの病院で予算を調査した時には、7万円程かかり、それ以外に麻酔科医の費用がかかると言われていましたが、その約10分の1の値段で受けることができました。結果は異常なしでした。私の体調を気遣って声をかけてくださったり、いろいろな情報をくださって励ましてくださったサポーターの方々に、心より感謝いたします。体勢を整えて再び活動できるよう願っています。さらなるご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>